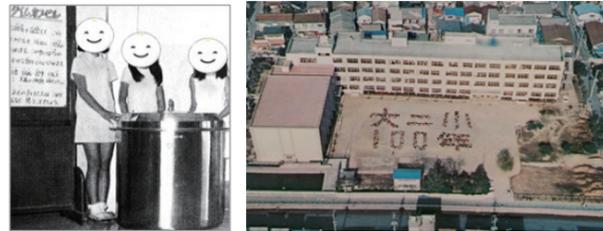




タイムカプセルが開きます

昭和50年2月に大森第二小学校創立100周年行事の一環として地域の方々と共に大々的に執り行われたタイムカプセルの設置から50年経過しました。



立派なタイムカプセル 写真展も同時開催

いよいよ下記日程で開封されます。50年前の自分に会えるなんて素敵ですね！

- ◆日時 : 2月9日(日) 午前10時~12時(雨天決行)
- ◆場所 : 旧・大森第二小学校(現・開桜小学校)
- ◆対象者 : 昭和37年4月2日~昭和43年4月1日生まれの当時の在校生

主催 : 大二小タイムカプセルを開ける会
 お問い合わせ :
 mail: omoridai2timecp@gmail.com



詳細はこちら

2025 冬



おいでよ

collabo

こらぼ 季刊誌 vol. 53

コラボ de アート展のお知らせ

~ アートでつながる人・地域 あなたの作品をお待ちしています ~

- ◆日時 : 2月20日(木)~22日(土) 午前10時~午後4時
- ◆場所 : こらぼ大森 多目的室、会議室
- ◆展示 : 絵画 イラスト 手芸作品 絵手紙 折紙 写真 書 etc
- ◆展示作品応募締め切り : 2月13日(木)
(区内にお住まいの方、お勤めの方であれば応募大歓迎です)

お問い合わせ・お申込み
 こらぼ大森情報交流室
 電話 03-5753-6560
 mail: cbc10286@nifty.com



「はがきに文字を書こう」講師:和田蘭寿

特集

区民活動の先輩から学ぼう

目次

特集 : 区民活動の先輩から学ぼう	2P~3P
大田区区民活動きっかけトーク開催	4P
大田・花とみどりのまちづくりの活動	5P
ふる浜まつり開催 OTA ふれあいフェスタ	6P
こらぼ菊花展を開催 はがきに文字を書こう	7P
地域包括支援センター大森からのお知らせ	8P
タイムカプセルが開きます コラボ de アート展お知らせ	8P



発行者 齋藤 十四男

発行日 2025年1月1日



大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住所 〒143-0015 大田区大森西 2-16-2

電話 03-5753-6616

URL http://collabo-ohmori.com/



ホームページ QRコード▶

発行

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

特集

区民活動の先輩から学ぼう！

大田区区民活動きっかけトークが開催されました！

子どもの活動を行うゲストが集結

9月21日(土)、消費者生活センターで、大田区地域力推進課主催のトークイベント「大田区区民活動きっかけトーク」が開催されました。本事業は、大田区団体自立支援事業の一環として行われたものです。このイベントは、「こどもの笑顔をつくりたい」と活動する区民活動団体のゲストの話聞き、区民活動に興味のある人たちの今後の活動を後押ししていくことが目的とされています。

意見交換や交流を通じて学ぶ

当日は、近藤真奈美氏(NPO法人読み聞かせネットワークヒッポ事務局長兼副理事長)、

上出匡高氏(NPO法人あかしろきいろ理事長)、藤本有希氏(一般社団法人ハートリレープロジェクト代表)の3名が、活動のきっかけや実際の活動に至るまでの体験談を語りました。40名以上集まった参加者の皆さんは、3名の体験談を聞いたのち、グループに分かれての意見交換をしたり、ゲストを交えた交流会などで、区民活動の知見を深め、活動グループ同士のつながりづくりを行いました。

参加者の皆さんからは、「これから活動団体をつくる参考になりました。」「ゲストの地域に根付いた活動に感銘を受けました。」などの感想がありました。



3人のゲストと司会者



講演の様子



イベント後の交流会のようす
(配食サービス団体このはなさん協力)



ポストイットを用いた意見交換

ゲストトーク：区民活動の先輩たちの活動のきっかけとは？



近藤真奈美氏

NPO法人読み聞かせネットワークヒッポ事務局長兼副理事長

近藤さんは、大田区での子ども向けの読み聞かせ活動を20年以上続けていますが、そのきっかけは、自身の子供に読み聞かせをしていた経験を活かしたいと思ったこと

でした。自分の子どもだけでなく、もっとたくさん子どもたちに絵本と出会ってほしいと、小学校でのボランティアをはじめ、その後のNPO法人化へと活動が繋がっていきました。読み聞かせ活動を通じ、子どもから力をもらったり、仕事づくりや仲間づくりにつながったりした事で、活動が発展、継続していきました。



上出匡高氏

NPO法人あかしろきいろ理事長

上出さんは、多様な子どもたちの自己実現を目的とするNPO法人の2代目の代表として、障害児通所支援事業や相談支援事業等に関わっています。元々は、商社の財務部に勤務した後、劇団四季で俳優をしていました。商社や、劇団などを子役指導などをする経験が現在に活かされているそうです。

その後、教員免許を取得し、子育て支援施設での従事経験の中で周囲に馴染めない子どもたちがいる状況に直面しました。より広い意味で子どもたちの支援を行うために、特性を持ち個性の強い子どもたちへの支援の実地訓練の経験を増やさねばならないと痛感したといいます。経験を重ね自分自身のスキルアップに繋げることで、より多くの子どもたちやその親の役に立とうと決心をし、現在のNPO法人に法人に関わるようになりました。今はその獲得したスキルを幅広く還元しようと児童館の運営を実現させるという夢を持って活動しているそうです。



藤本有希氏

一般社団法人ハートリレープロジェクト代表

藤本さんは、ふるさと水俣を舞台に、夏休みに帰省した子どもたちが、ふるさと体験をする活動を行っています。活動のきっかけは、東京での暮らしと子育て経験でした。ある時、山手線の中で聞こえてきた「モンシロチョウの色は何色？」と、図鑑を頼

りに「お受験」対策をする親子の会話にショックを受けたそうです。後に母親となり、二人の子どもが保育園と学童保育のW待機児童となるなど、子育てのしにくさを痛感したこともきっかけでした。ふるさとで過ごした、豊かな自然や地域の人々との触れ合いの中で育ったことの大切さを実感し、都会の子どもたちの夏休みを充実させる活動づくりを行っていきました。この活動はこれまで、藤本さん協力のもと、気仙沼、西伊豆、仙北、瀬戸内などでも実施され、一部自治体でも実施を検討されているそうです。

～みどりがつなぐ地域と子どもたち～

大田・花とみどりのまちづくりがコーディネートする花壇のお世話をする活動が行われました。

駅前花壇を世話する地域の人たち

9月29日(日)、NPO 法人大田・花とみどりのまちづくりがコーディネートする、大岡山駅前のコミュニティガーデンの定期メンテナンス活動が行われました。大岡山駅前のコミュニティガーデンでは、2012年4月に活動が始まり、まちのみんなで毎月一度のお世話をし、美しく維持されています。



花壇の定期メンテナンスの様子

当日は、大岡山北口商店街の方々、大森第六中学校ボランティア「農援隊」の皆さん、清水窪小学校の親子、東京科学大学のボランティアの皆さんが集まりました。

まずコーディネーターの牧野さんから、「今日のお手入れの目的は、ガーデンをきれいにする事です。枯れ葉や落ち葉など、茶色いモノを取り除くことを意識しましょう!」と分かりやすい説明があり、作業が始まりました。



当日の活動について説明する牧野さん



枯葉を取り除くボランティアの皆さん

た。みんなで協力して1時間ほど活動すると、落ち葉が溜まっていたコミュニティガーデンは、見違えるようにきれいになりました。作業の後には、商店街によるお茶とお菓子の提供があり、ホッと一息をついてお互いの頑張りをねぎらい合います。こうしたお茶タイムも、作業と同じくらい大切にされています。

中学生も定期的に活動

この活動では、様々な世代の参加者を結び付けながら活動が行われており、初めて参加する人も、気持ちよく活動に加わることができます。こうした活動の積み重ねが、地域と小中学生たちの継続的なつながりへと結びついています。(大森第六中学校「農援隊」の皆さんは、2012年以来、代々この花壇の活動に参加しています。)

NPO 法人大田・花とみどりのまちづくり

東京の大田区をフィールドに、駅前花壇での花植え、区民農園や区保有の緑地管理などでのボランティア活動を通じて地域の緑化と緑の普及啓発を行い、豊かさや潤いのあるまちづくりに寄与することを目的としたNPO法人です。

ホームページ：
<https://hanamidori.sakura.ne.jp/>



花咲く春の花壇 (牧野さん提供)

「第8回ふる浜まつり」開催

10月13日(日曜日)に「第8回ふる浜まつり」(大森西地区自治会連合会主催)が開催されました。秋晴れの大森ふるさとの浜辺公園には、模擬店やステージ、子ども向けのゲームコーナーが出店し、親子連れなど多くの参加者で賑わいました。

子どもからお年寄りまで楽しめるお祭りを例年開催してきましたが、令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、昨年は雨天のため室内開催となっていました。今年は5年ぶりの屋外開催となりました。



開会式の様子



たくさんの模擬店と人出



子供向けのゲームコーナー

OTA ふれあいフェスタに参加しました!!

11月2日(土)・3日(日)に開催されたOTA ふれあいフェスタ。初日はあいにくの雨模様の天気でしたが2日目は、素晴らしい青空が広がりました。その空の下参加された皆さんも笑顔がいっぱいでお祭りモード一色になっていました。

こらぼ大森のお店もお陰様でたくさんの方に来店いただき大繁盛でした。お手伝いいただいた町会関係を始めとする地域の皆様、本当にありがとうございました。



当日の様子

こらぼ菊花展を開催しました

昨秋も 11 月 7 日 (木) から当施設のエン
トランスで大菊を展示し、皆様にお楽しみ頂
きました。こらぼ大森の菊は、小さな苗の時に、
茎を 3 つに分けることで、それぞれの茎に大
輪を一つ咲かせる仕立て方 (大菊三本仕立て)

で育てられています。早春から世話をしてき
た菊は、猛暑の影響で開花が危ぶまれていま
したが、ボランティアの皆さんの努力が実り、
無事花を咲かせることができました。



菊づくりのボランティアの皆さん



三本仕立ての菊

菊づくりの仲間募集中!

こらぼ大森では、今年の菊づくりの新た
な仲間を募集しています。大菊の作り方を
学びあいながら、和気あいあいと作業して
います。「菊づくりに興味がある」「花がす

き」という方であれば、経験は問いません
ので、どなたでもお気軽にお問合せくださ
い。

問合せ先
こらぼ大森情報交流室 03-5753-6560
担当：藤條 (とうじょう)

はがきに文字を書こう!

11 月 13 日 (水)、こらぼ大森多目的室
でソシオ大森主催の「はがきに文字を書こう」
のイベントを開催しました。参加者の
皆さんは、今年の干支である「巳」をはじめ、
お気に入りの一文字 (希、祥、志など) を
思い思いにはがきに貼るためでした。年賀状に
使うために文字を書く方もおり、年賀状を
楽しみにしているご友人の事を思いながら、
楽しいひとときを過ごしていました。



思い思いの作品が並びました!

地域包括支援センターからのお知らせ



こんにちは! 地域包括支援センター大森です!

地域包括支援センターは地域の高齢者 (お
おむね 65 歳以上) の方やそのご家族等の相
談機関です。令和 3 年の 6 月にこらぼ大森に
移転して、約 3 年間、こらぼ大森でお仕事を
させていただいています。

地域包括支援センター大森は高齢者のよろ
ず相談窓口です。ご自身・ご家族のこと・お友
達・ご近所さんのこと、困ったことや心配な
ときはお気軽にご相談ください!

オレンジカフェを開催しています

地域包括支援センター大森では毎月第 2 水
曜日に認知症カフェ「こらぼでオレンジカ
フェ」を大森西特別出張所大会議室をお借り
して開催しています。

昨年、今年とこらぼ大森で開催される、こ
らぼ de アート展にて「オレンジカフェ」と
して作品を展示させていただいています。みな
さん熱心に作品を作ってくださいました。

認知症について興味がある方、最近物忘れ
が心配な方、人とお話ししたい方、皆様の参
加をお待ちしています。

大森西図書館でも隔月でサロンを開催して
います。

参加ご希望の際は地域包括支援センター大
森までご連絡を!



体操



ぬり絵



作品

65歳以上の皆様へ

大田区では 65 歳以上の皆様に「見守りキー
ホルダー」の作成をおすすめしています。

見守りキーホルダーは、持って外出してい
ただくことで、有事の際に事前に登録してい
る情報を救急隊や警察等の公的機関に情報提
供ができるものです。実は落とし物対策にも
役立って、キーホルダーを付けた鍵が交番に
届いたときに、お名前の代わりになったりも
します。

まだお持ちでない方は、各地域包括支援セ
ンターまでお問い合わせください!



見守りキーホルダー

連絡先: 大森西二丁目 16 番 2 号

区民活動支援施設大森 こらぼ大森内

電話: 03-5753-6331

FAX: 03-5753-6332